

支部だより
珠のつえ
平成28年7月5日
第10号



発行所

公益社団法人 全国珠算教育連盟

青森県支部

所在地 三沢市中央町4丁目4-6

☎0176 (53) 3662

支部長 斎藤 隆

責任者 福士隆行

平成27年度支部臨時総会…青森市で開催！

平成27年度支部臨時総会が4月17日、青森市のリンクステーションホールで開催されました。午前9時30分に開会、全珠連歌斉唱、支部長挨拶に続き珠算教育士の免許証授与式が行われました。議長選出後、事務局より定足数の報告(現在会員数109名、出席総数103名)があり会議は成立、議案審議に入りました。第1号議案「平成28年度事業計画並びに収支予算案の承認を求める件」では、各執行部長が詳細を説明、4月10日に開催された常任委員会の原案どおりに承認されました。第2号議案「支部名誉顧問の承認を求める件」では現名誉顧問、木村守男氏が勇退されることになったこと、守男氏のご意向で、ご子息の木村太郎衆議院議員を支部顧問に推戴する旨の報告(4月10日の常任委員会で承認済み)がありました。



〈 珠算教育士免許証の授与 〉

協議報告事項 ◆検定試験問題の回収…伝票以外の余った問題は地区で廃棄処分とすること。◆段位検定日…学校行事等でやむを得ない場合に限り前日の土曜日の実施を認める。◆段位合格発表…合格発表は次の週の月曜日以降とする。◆段位審査要領…3文字以上離れて書かれてある答案は無効とする。◆第6回人材育成講習会(平成28年12月23日～25日・メルパルク京都)の受講者推戴…受講を希望する者、地区からの推薦者があるときは支部長に申し出ること。

…平成27年度珠算指導者講習会：講師 斎藤 隆支部長 …

支部臨時総会終了後、午前11時から珠算指導者講習会が開催され、斎藤隆支部長が「珠算教育の歴史…概要」と題し講演しました。

〈要旨〉そろばんの起源は遠く原始時代に遡る。紀元前3000年前頃、メソポタミア地方で砂の上に線を引いて小石を置いて計算する方法が生まれた。次いで2500年前頃、盤の上に線を引きその上に珠を置いて計算するそろばんがギリシャやローマで使われるようになった。紀元前300～紀元後400年頃にはローマで溝そろばんが使われていたが五珠1個で一珠4個の今のそろばんと同じだった。10世紀頃に中国で、珠を軸に通した今と同じようなそろばんが誕生、五珠2個一珠5個で珠が丸いだんご状のものである。中国から日本への伝来は15世紀頃と思われるが、1592年に前田利家が朝鮮出兵の陣で使用したそろばんは珠が角ばっているもので、日本人の手で改良したと推察される。



〈 算盤と珠算教育の歴史をわかりやすく説明 〉

◆江戸時代の珠算教育 1627年に吉田光由が日本初の算術書「塵劫記」を著したが、この書とともにそろばんが普及していった。1700年頃には、関孝和によって日本独自の数学である和算が発展していくことになる。文化・文政頃から寺子屋が増え始め「読み書きそろばん」が指導されるが男女共学であった。

◆明治からの珠算教育 明治5年に学令が發布され、算術は和算を廃止して洋算が採用されたが実生活とかけ離れており翌6年には筆算・珠算を併用して教えても良いようになった。明治15年以降は各地に商業学校が設立されていく。明治35年、貯金局で事務の能率化を図るため珠算競技会が開催され、その後規模を拡大して同41年から毎年実施された。

◆戦後の珠算教育 昭和22年に教育基本法、学校教育法が交付され義務教育は9年となり、4年生から6年生に加減乗除を指導。同26年には教育の指針が示され、「4年でよせ算やひき算をする能力を伸ばす。5年で正確に早くそろばんを用いてよせ算やひき算をする能力を伸ばす。6年で正確に早くよせ算やひき算がいつそう容易にできるようにする」ことが指導目標とされた。以降、学習指導要領改訂により、系統学習・現代化・内容の精選(ゆとり)・豊かな心を育てる教育へと指針が移っていく。同46年になって、そろばんは小学4年で学習していたものが3年に移り、4年以降は必要によっては乗除の指導を行ってもさしつかえないと改訂された。平成元年、3年・4年でさらに内容が精選されていき5年生以降においては、そろばんや電卓等を適宜用いさせるようにすることになった。

指導法や塾経営の講習が多い中、珠算指導者としては歴史についても知識を身につけておくことが必要です。斎藤隆支部長は映像を使って、そろばんと珠算教育の歴史をわかりやすく説明、受講者のみなさんは熱心に耳を傾けていました。

アメリカンスクールそろばんコンテスト開催 —少数精鋭で実力伯仲—

第26回アメリカンスクールそろばんコンテストが、6月1日(水)、三沢市公会堂で開催されました。大会には米軍三沢基地内のソラーズ小学校とエドグレン中・高校から38名が参加、日頃の練習の成果を競い合いました。前回まで参加のカミングス小学校は生徒の減少で閉校になり、ソラーズ小学校に統合されたそうです。

開会式では、主催者を代表して斎藤隆支部長が「このコンテストは横田・横浜・横須賀・相模原・厚木・座間のアメリカンスクールの生徒が1982年に東京に集まって開催されたことが始まりで、その後三沢や沖縄県那覇、長崎県佐世保でそれぞれ行われるようになりました。現在も続いていることは、在日教育局の皆様とそろばんを指導してくれたアメリカンスクールの先生方のおかげです。心から感謝します」と挨拶。続いて、在日米国防省教育局教育長代行のジム・ジャーニー氏が「30年以上日本各地でこのコンテストが続いていることに、全国珠算教育連盟並びに関係者の皆様にお礼を申し上げます。そろばん学習は集中力や数の概念を養います。このようなすばらしい日本の文化であるそろばんに、触れる機会を与えていただき感謝します」とビデオメッセージを寄せました。



競技はソラーズ小学校教員の熊谷麻素美氏が進行、同校教員のスージー・バーディック氏が読上算を担当、「英語読上算」「プリント計算」「フラッシュ暗算」の3種目が行われ、読上算の入賞者はフラッシュ暗算に参加できないルールで行われました。昨年より参加者が8人減りましたが、少数精鋭による熱戦が展開されました。レベルは年々高くなってきており、満点同士の決勝は恒例となっています。今回はプリント計算で4名が満点となり、実力伯仲のコンテストとなりました。



競技はソラーズ小学校教員の熊谷麻素美氏が進行、同校教員のスージー・バーディック氏が読上算を担当、「英語読上算」「プリント計算」「フラッシュ暗算」の3種目が行われ、読上算の入賞者はフラッシュ暗算に参加できないルールで行われました。昨年より参加者が8人減りましたが、少数精鋭による熱戦が展開されました。レベルは年々高くなってきており、満点同士の決勝は恒例となっています。今回はプリント計算で4名が満点となり、実力伯仲のコンテストとなりました。



選手宣誓



フラッシュ暗算競技



盛り上がった表彰式

第47回県下珠算競技大会 兼 第44回東北七県大会予選

平成28年6月12日(日)、三沢市公会堂「小ホールと3階集会室」で大会兼予選会が行われました。小ホールでは『開会式、フラッシュ暗算競技、表彰式』が行われ、3階集会室では、『個人総合、読上暗算、読上算競技』が行われました。県大会で公会堂を使用するのは初めての事…。それに小ホールは地下1階、集会室は3階と、会場の移動があり少し不安でしたが、予定通り午後3時には、すべてを終了することが出来ました。この大会で予選通過した40名の生徒は8月2日(火)に新潟県・新発田市『月岡温泉・ホテル泉慶』で行われる東北大会に出場します。頑張れ！青森県選手団！今年は3部門制覇なるでしょうか。

◎県大会各種目優勝 ※④…4年以下の部 ⑤⑥…5・6年の部 ⑧…中学生の部

- 団体総合 ④三沢珠算塾 ⑤⑥東北珠算塾 ⑧三沢珠算塾
個人総合 ③赤塚桜菜 ④斗賀姫花 ⑤鳥谷部莉央 ⑥斎藤快 ⑧斎藤俊
※個人総合優勝者は県知事賞も受賞しました。
読上暗算 ④工藤者央 ⑤⑥吹越優衣 ⑧斎藤俊
読上算 ④大下内佳 ⑤⑥斎藤快 ⑧斎藤俊
フラッシュ暗算 ④工藤者央 ⑤⑥鳥谷部莉央 ⑧斎藤俊



よ〜い…



はじめ!!



ドキドキの優勝決定戦

定時総会・講習会のおしらせ

- ◆日時:平成28年8月21日(日)
- ◆場所:三戸郡南部町『バーデパーク』
- ◆時間:【総会・表彰】13:00~14:50
【講習会】15:00~17:00
『フラッシュ暗算検定について』
講師:関向知壽
【懇親会】18:00~20:30



宿泊するアヴァンセふくちは、温泉を利用した健康増進施設「バーデハウスふくち」に併設した宿泊施設。栄養バランスに配慮された食事も提供。のんびりした田園風景の中で体が喜ぶくつろぎの休日をお過ごし下さい。

次の日は…みんなでそば打ち体験♪

八戸地区では夏休みの思い出にそば打ち体験を企画しました。お昼にはご自分で打ったそばをお召上がり頂きます。定員は25名なので、奮ってご参加下さい。希望者は支部総会出欠ハガキにてお申し込みください。

日時:8月22日(月)10:00~12:30

場所:グリーンプラザなんごう

※詳細は支部からのパンフレットをご覧ください



※しめ切りは7月20日(期日厳守)です。
欠席の場合は必ず委任状を提出下さい。